



# 紺 碧

調布稲門会 会報

2016.6 第44号

事務局 〒182-0034

調布市下石原 3-62-3

Fax 042-487-1154

E-mail [toumonkai@gmail.com](mailto:toumonkai@gmail.com)

URL (HP) <http://chofu-tomon.jimdo.com/>

編集責任者 五十嵐真 高原浩

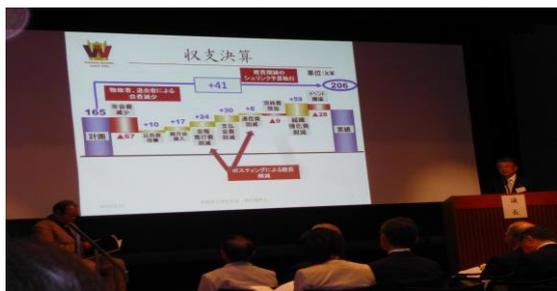


## 2016 総会 「今年の総会は楽しくて出て良かった」 —出席者は前年の1.5倍と大盛況

会報担当幹事 高原 浩(昭44法)

2016年度(第35回)定期総会は5月21日(土)午後2時から「たづくり12階大会議室」で開催されましたが、最近になく大きな盛り上がりを見せ、多くの出席者から「今年は楽しくて良かった」との声が聞かれました。多くの会員に広く出席して頂くよう強く働きかけたことなどから出席者は会員(準会員含む)が約70人と前年比1.5倍に増え、来賓を含めると約85人と最近では例のない規模で開催することができました。

運営方法にいくつかの新機軸を出したことも好結果を生んだ要因といえます。まずいつもは担当役員が議案資料を淡々と読み上げて説明していたのを、文章とカラフルな図やグラフを織り交ぜて工夫したスライドを舞台の大スクリーンに投影する形の説明に改めました。その結果、説明が簡潔・明快に済むようになりました。スライドは総会終了後の懇親会の中でも、同好会活動や、稲門祭のお知らせ、早稲田祭のお知らせなどのご案内にフル活用しました。



また懇親会での飲食方法も前回までのビュッフェ形式をやめ、今回は動き回らずに済み、ゆったりと着席したままで歓談できる弁当の形に変更し、出席者に喜ばれました。第二部の、調布稲門会会員でもある岩佐豊さん(元ダイヤモンド社社長)の講演(講演要旨は別掲)も「すごくためになった」と好評でした。ワイシャツ姿になってホワイトボードを駆使して「日本経済の現況」やタイムリーな「アベノミクスの行方」についてユーモアたっぷりに1時間ほどお話しして頂きました。

第三部の懇親会に花を添えた男声合唱団「東京稲門グリーンクラブ」の調布初お目見えも特筆されます。調布稲門会役員陣の努力で実現したもので、MC(司会役)をされた林幹夫さんが調布稲門会会員というご縁もあります。30人の団員が舞台のひな壇に整列して定番の「紺碧の空」を皮切りに黒人霊歌、ロシア民謡、イタリア民謡、日本民謡そして最後の「早

## 2016 総会

### 講演『アベノミクスを含め、日本経済はどうなる?』

#### 「繁栄は終わり、貧富の差拡大、ますますつらい世の中に」

元ダイヤモンド社社長 岩佐 豊氏(昭45政経) 要約柵木 真也(昭59政経)

日本経済の流れは1970年から先進工業国に入り、89年までが1回目の繁栄の時代。その後、「失われた10年」と言われる不況があり、2000年から15年まで2回目の繁栄の時代がありました。過去形です。繁栄の基準は企業の利益です。

先進国は2回目の繁栄を終えて老大国になっていきます。先進国入りする前は商業資本の国です。1回目の繁栄では工業資本、製造業が大きく伸び、2回目の繁栄では金融資本、サービス業が大きく伸びました。日本国内の工業資本が再び繁栄することはない。繁栄は2回でおしまいです。株は去年がピークで、これからは1万2000円~1万3000円の水準に落ちていくのではないのでしょうか。

稲田の栄光」など全7曲を披露。その圧倒的で感動的な歌声が、心地よく懇親会場を包み込んでいました。次回以降もぜひ呼びたいものです。ゲストで来場された長友貴樹調布市長が早速、市報6月5日号の1面コラムで「歌声にすっかり魅了された」と好意的に書いて下さったことも特記しておきます。

さて総会ですが、まず椎原大典会長が「前年度からの新企画・新事業を“継続は力なり”の精神でさらに発展させたい」と挨拶。その後、収支予算などの議案を順次、説明・採決し、全て賛成多数で可決しました。なお総会会場には熊本地震被災者支援の募金箱が置かれ、別途「女性の会」での募金(16,200円)を加え総額36,700円のご協力があり、後日これを早大校友会経由で寄付しました。

最後に本年度、新役員・新幹事になられた方々(新任のみ、敬称略)を以下、ご紹介します。

**副会長** 芦沢友雄(昭49理工)、**副幹事長** 中野慶子(昭50教育)、**会計** 坊野美代子(昭53教育)、**監査** 早川政夫(昭30商)、**幹事** 松村啓之亮(昭38法)、竹下哲生(昭45院理工)、石田欽也(昭55商)、明石純一(昭58商)、嶋田浩一(平2教育)

(表紙の冒頭ワイド写真は五十嵐真会員撮影)



アベノミクスで最初にやったことは資産インフレ、株価インフレです。日銀がお金をジャブジャブ流して円安に持っていき、一部の輸出企業は利益を出し、一部のお金持ちはさらに豊かになりました。それより下には恩恵は来なかった。誰がやっても時代

の大きな流れを人為的に変えるのは難しい。貧富の差は開き、米国のように一部の人が富の大半を握る時代に突き進んでいきます。今の麻葉型の金融はやめられない。無理です。もう走り始めました。優しい出口はない。出口は多分、需要は増えずに価格だけ上がるハイパーインフレです。なかなかつらい。所得の低い人ほど被害はひどい。しかし時代は新しい主役を求めており、トライする価値はあります。

### トピックス

## 大型クルーザー船集合、皆で横浜に見に行くーキテネ・イベント第3弾

松野 宏(昭43教育)



「年会費を払っているが、ただそれだけ」という多くの“サイレントメンバー”の方々に参加して頂くというコンセプトで前年、スタートした『キテネ』です。第3回となる今回は3月31日(木)、横浜港大棧橋に停泊している大型クルーザー船を見物に行きました。その船はオーシャン・ドリーム(3万5000ト)とパシフィック・ヴィーナス(2万6594ト)。いずれも日本籍。

この日、空は快晴、海は青く、そして白い船。まるで絵のようでした。このチャンスに13人が参加、

## 調布稲門会寄付銘板付きの中野WISH寮室訪問、寮生から支援を感謝される

五十嵐 眞(昭37理工)

4月上旬、早大オープンカレッジ春学期の講座受講のため中野キャンパスに来たついでに機会があれば寄りたいと思っていた隣接の早稲田大学国際学生寮WISHを訪ねました。ここには800人が入居、うちおよそ200人が日本の地方から、他は外国留学生。寮

経営者にとっては、こんなにエキサイティングな、面白い時代はない。これまでの経営にしがみつこうとしていると、一向に風は吹かない。「出口は必ずあるはずだ」と全員を引っ張っていくのが経営者の仕事です。誰がリーダーかによって、運命がほぼ100パーセント決まる時代になると思います。

この中に1人、現役早大生の細見華子さんがいて、早稲田祭運営スタッフとして活躍する中で今回のイベントを知ったとのことでした。孫のように可愛い参加者が突然現れて参加者一同どれだけ華やいだことか、うれしいハプニングでした。

横浜中華街の老舗中華飯店で一人1000円の昼食を一緒に囲み、その量と味には感嘆の声。そして徒歩15分、棧橋の両側に今回の目当ての巨船が姿を現わしました。その美しさ、偉容ぶりには一同「おお」の声。この景色、一目でみんなの脳細胞にプラスに働いたことでしょう。会話からは「しかし大きいね」、「こんな船に乗ってみたい」、「どんなお料理が出るのかしら」、「これは見てよかった」との声が聞かれたほか、望遠鏡で船内を覗いた人からは「上階は窓が大きく、照明の色が違う。あれは富裕層の部屋だね」とも。

一同、『紺碧』用の記念写真に納まり、見るのが楽しみだ、と心から満足げでした。その後は大棧橋にあるカフェで打ち上げ。細見さんには次回の参加もお願いして散会しました。

室は個室と共用リビングで構成、4人1ユニット制、留学生と日本人学生が常に交流できる間取りです。特に訪ねてみたかったのは入口に調布稲門会の寄付プレート(写真)がつけられている寮室1109号室。訪問時に学生の支援担当の職員に会報『紺碧』と名

刺をお渡ししてきてところ後日この寮室に住む学生から感謝のメールが届いたのでそれをご紹介します。

「初めまして。私はこの春から WISH に入寮しました、文化構想学部 1 年の大和田晴香です。調布稲門会様が、支援して下さいたユニットで新生活を始めています。地方から上京し、慣れない環境下に不安もありますが、WISH に帰ってくれば気を許せる友達や、優しい先輩方、寮の管理をなさってくれる方々がいて安心できます。

また多くの国々の留学生などと一緒に生活をするという経験は、グローバル化が進む現代において大きな糧になるだろうと感じています。このような恵まれた環

境に身を置けるのは、調布稲門会様のご支援があったからです。ありがとうございます。これからも寮生活で様々な経験をし、多様な考え方に触れ、この寮での生活を自分自身の強みにしていきたいと考えています。改めてご支援に感謝いたします。」



## 会員のエッセー

### 高齢の今もジャズの現役企画プロデューサー——わが♪音楽企画三昧の人生

齊藤 宗之 (昭39法)

東大卒の地質学者で通産省退官後、早大講師をした父、正次、そして定年まで三菱マテリアルに勤めた私。誠に堅い環境の中で育った私は、皆さんに夢と寛ぎを与える音楽の世界、虚業のジャズのプロ企画奉仕プロデューサーに転身して 15 年、75 歳の今も年間約 60 本のライブを企画し現役でいます。

昔、池上線の五反田駅前にあったグランドキャバレー。当時、グランドキャバレーというのは広いフロアを持つ音楽とダンスの殿堂でした。そこに私の従兄弟の齊藤恒夫が有名コンチネンタルタンゴのバンドマスターとして演奏していたのを高校時代、聴きにいったのが今のジャズ嗜好のきっかけです。



高校と、大学ではグリーンクラブと双壁の混声合唱団(早混)で、ベートーベンの第九交響曲を歌いたくて主にクラシックコーラスに取り組んでいました。早混では3、4年と一時代を画した“敏腕マネジャ

ー”として、全国に団員を引率して演奏旅行を企画するなど、プロ的に頑張りました。若き日の小澤征爾さんの指揮によりオール早稲田の音楽団体で、かの東京文化会館で第九も企画できました。その経験が活きての今の音楽企画稼業といえます。

ジャズへの企画志向は会社退職の数年前から再燃、それから 10 数年、才能ある有名プロの歌手、楽器のミュージシャンらへの発表の場を提供するプロデューサーを高齢の今も現役で続けています。ライブ編成と司会、進行、プロの前歌もして楽しんでいます。都内の各有名店、校友幸田マスターの、タモリが役員で知られる 38 年の老舗、新宿 J (JazzSpotJ) などで月例ライブを年間約 60 本企画、業界の中核になっています。音楽の中で若い人たちにパワーをもらって自分も大いに活性化しています。

ジャズ人脈にも恵まれました。早稲田関係者だけでも、業界駆け出しの頃、後見人になって頂いた早大ハイソサエティオーケストラの草分け故山川浩一さん(ピアノ)、奥様が小学校の同級生である縁でジャズピアニストの故中村八大さん、今はジャズピアニストの教祖でモダンジャズ研究会出身の小谷教夫さんたち、まさに早稲田は音楽大学?と思うほどの多くの有名校友プロたちと親交、一緒にステージも持っています。

ご存知の通り地元調布でも5年前から有名一流プロを呼んでお気軽に楽しんで頂く奉仕ライブを、調布駅東口・百店街入口の「エブリシング」で毎月第1日曜日の夕方に開催、多くの校友の皆さんにも楽しんで頂いています。残念ながら9月に同店は事情に

より閉店しますので、まだ一度も来店されていない方、常連の方もぜひご来店下さい。クラシックや演歌も良いですが、洋・軽音楽の生演奏も良いですよ。新宿Jなどの名店にもぜひ足を伸ばしてみてください。(写真は「プロジャズ仲間と」中央本人、新宿Jで)

## 「集まり散じて、また会って」――中学、高校、大学同窓の不思議な縁

松村 葉子(昭40教育)

昨年春、身辺整理の仕上げでここ調布に移り住んだものの、やはり大事なのは近所のお友達で、早速、夫とともに調布稲門会に入会しました。初参加の「女性の会」で向こう受けをねらって「吉永小百合は中・高・大学の私の後輩」の自己紹介。それにはこんな事情があったのです。

ちょうど高2の期末試験のさなか、進学先に迷っていた中学(渋谷区立代々木中学)の後輩の彼女が、担任の先生に勧められて、男子校系の新宿か戸山かあるいは女子校系の駒場高校にすべきかその雰囲気聞きに突然訪ねて来たのです。まだ自宅に電話のない頃のことです。先輩らしく自由な校風などを説明して差し上げましたが、これがこの大女優の後の進路に影響を与えたかは分かりません。合格を果たした彼女とは校内で挨拶を交わす程度でしたが、やがて大学でもすれ違うようにもなった、そんな程度のことなのですが。

すると「女性の会」に出席されていた五十嵐一美さんから「私も駒場高校よ」、旧姓を名乗り合うと高一のクラスメートだったことが分かり思い出は数十年遡りました。同じ高校の後輩にはOL時代の通勤電車で毎朝見かける男性にぼんやりしててついお辞儀をしまい、それが縁で結婚に至ったあわて者もいます。また夫の転勤でマニラに住んでいる時に日本から遊びに来た早稲田の後輩でもある妹は、アパートのロビーから23階の我が家までのエレベーターで偶然、40年ぶりに区立中学のクラスメートに出くわしたことがありました。

まさに人は偶然かそれとも必然に導かれてか誰かに会い、大学校歌の歌詞ではありませんが、集り散じて、そしてまた出会う、楽しいものですね。この先はそれほど長い期間ではないかもしれませんが、調布稲門会ではもう散じることのない新しい邂逅があることを願わずにはられません。

## 早大と徳川尾張藩の地縁――早稲田キャンパス“考古学”

高原 浩



名古屋市の日本庭園「徳川園」に再現された「龍門の瀧」

在学中は全く興味がなかった早稲田大学の立地場所の来歴についてひょんなことから紐解くことになりました。本部キャンパスの大半は、現在も南側に隣接する天台古刹の宝泉寺(西暦810年創建)の広大な寺領の一部でした。また文学部のある戸山キャン

パスは徳川尾張藩の江戸下屋敷(戸山屋敷、藩主の私邸)でした。ここまでは「知る人ぞ知る」ですが、ここでは後者について最近のエピソードをご紹介します。きっかけは関西に住む従兄弟の「早稲田の敷地は徳川尾張藩の下屋敷跡なんだってね」の一言。

聞くと、彼が母校の名古屋工業大学を訪ねたついでに近所にある徳川美術館隣接の日本庭園「徳川園」(二代藩主光友の隠居所、大曾根屋敷が起源)に立ち寄った。そのとき園内の「龍門の瀧」の入口立て札に、平成10年(1998年)に早大敷地内で旧尾張藩邸の池泉回遊式庭園のうちの「龍門の瀧」の遺構が発掘され、出土した石材多数を譲り受けここに戸山屋敷の滝を蘇らせた、とある。私はてっきり本部敷地かと勘違いしましたが、実は戸山キャンパスのこと。

戸山屋敷は江戸時代初期に造営され、小溪谷「鳴鳳溪」を構成する「龍門の瀧」のある当代随一の庭園を備えていました。余談ですが、その時に池を掘った残土を積み上げ固めて築いたのが現在の新宿区戸山公園内にある箱根山(標高は山手線内では一番高い44.6m)です。この石材は江戸城築城の余り石とみられ、全360個、総重量250ト。名古屋市は平

成11年に早大から石材を譲り受け、平成16年秋に新装成った徳川園内に「龍門の瀧」を再現しました。

滝の布落ちや護岸、河床、飛び石にこれらの石材を使って、水量を急激に増す仕掛けを昔ながらに取り入れています。名古屋訪問の機会があれば、ワセダとの地縁に思いを馳せながらぜひ一度訪ねてみては如何でしょうか。(関連記事=同好会「女性の会」)

## 生き生き！皆の同好会活動

### 春の絶景求め三浦半島最南端を歩く——ワンゲル同好会 代表 石倉 毅(昭36理工)

平成28年春のワンゲル活動は4月24日(日)、神奈川・三浦半島の最南端「三崎港」と「城ヶ島」に出掛けました。総勢11人(男性7人、女性4人)が京王線調布駅に午前8時40分に集合し、京王線、南武線、京急線を乗り継ぎ終着駅「三崎口」に約2時間かけて到着、さらに路線バスで目的地「三崎港」に着いたのは午前11時半を過ぎていました。



この終着駅のバス停の魚屋にはひと抱えもあるマグロのカブトが五つ、我々を出迎えてくれたのはいささかビックリ。ここ三崎港がある「三崎下町」に

### 初企画「発達障害理解のための講演会」に多くの参加者——ボランティア・ネットワーク Bor・n 始動

ボランティア・ネットワーク Bor・n は2016年2月に発足した新しい同好会です。私たちの街調布に暮らしている、障害のある子供たちへの支援をメインにボランティア活動を行います。まずは「知る」ことから。5月15日(日)、電気通信大学・社会連携センターの協力を得て、電通大80周年記念館を会場に「教えて発達障がいのこと」というタイトルで講演会を開催しました(次ページに写真)。

は約30店舗以上の食事処があり、早速、予約しておいた店に直行。当然マグロをはじめ、地のサカナで空腹を満たしました。この店には大吟醸「獺祭」があり、この「三崎港」が人気スポットの所以であることを納得しました。

食後、直ちに渡船で城ヶ島に渡り、午後のスケジュール開始。島の頂部は海拔約40mの高さ、比較的平坦な地形で、東西に貫く約2kmの遊歩道があり、その両側には全線に約30万株の八重水仙が咲き誇るとのこと(シーズンは1~2月)。この遊歩道は屹立する崖の近くにあり、眼下に太平洋の荒波が打ち寄せる絶景な眺望です。この島の東端には県営の公園があり、展望台が2カ所、晴れた日は伊豆大島、富士山、房総半島が眺められるとのことですが、当日はあいにくの曇天でそれは叶いませんでした。

<参加者、敬称略>

齊藤宗之、濁川寿次、堀龍之介、村上勉、石倉恵子、山田啓文、友部保子(TWA)、石倉毅、天野凡子、知人2人

### 代表 坊野 美代子(昭53教育)

スピーカーには、三鷹市にある一般社団法人「発達障がいファミリーサポート Marble」の7人のスタッフの皆さんをお迎えしました。スライドやイラスト、寸劇や模擬体験も交えて大変分かりやすく「発達障害」のことを学ぶことができました。この講演会は調布市教育委員会の後援も頂き、当日は予想を大きく超える52人の参加者となり、初企画を無事終えることができました。

今回は6月25日（土）、都立調布特別支援学校の余暇活動にサポーターとして参加します。調布稲門会からフラダンス同好会も出演予定です。

＜調布稲門会関係の参加者、敬称略＞

五十嵐眞、石井宏和、石田欽也、河野瑠美、椎原大典、嶋田浩一、関口憲三、相馬友子、塚田碧、舟久保賢一、舟久保由紀子、松野宏、村上溢恵、山田和子、山本あおい、吉尾勝征、坊野美代子



**女性の会 第20回記念企画「家族と楽しむ早稲田界限と都電荒川線車両貸切ツアー」**山田和子(昭49文)

2005年秋に始まった女性の会（旧食・歩会）の「散策とランチ」は今年秋に第20回を迎えます。それを記念し女性会員に限定せず、男性会員・ご家族にも参加頂ける遠足を下記の内容で企画しました。10月または11月に予定しています。

〔午前〕「早稲田界限散策とランチ」徳川尾張藩ゆかりの戸山キャンパス裏の箱根山（山手線内で一番高い山）等 〔午後〕「都電荒川線貸切車両にて（早稲田→三ノ輪橋）」電車から町の風景、坂などの地形の変化が楽しめます。詳細が決まり次第、HP等でご案内します。

**短信** 新会員＜敬称略、氏名、卒年・学部／入会順＞  
 三隅 栄太郎（昭49政経）、松村 葉子（昭40教育）  
 宇野 良子（昭40文）、伊東 敏明（昭52商）  
 伊東 敦子（昭52教育）、福地 健治（社学研2年）、  
 遠山 修慈（昭53文）、森山 耕一（昭48理工）、  
 堀井 時枝（昭41教育）  
 （準会員）山岡 昭男、福地 ひとみ

**年会費振込先のご案内（口座名「調布稲門会」）**  
 ゆうちよ銀行 当座 00120-8-101851  
 みずほ銀行調布支店 普通 0997965

**（各同好会の代表者と連絡先）**

同好会	代表者	電話番号	メールアドレス
囲碁・将棋	早川 政夫	042-487-9610	<a href="mailto:sazuhaya@jcom.home.ne.jp">sazuhaya@jcom.home.ne.jp</a>
カラオケ	中野 慶子	080-5174-1863	<a href="mailto:k_nakano_2648@ae.auone-net.jp">k_nakano_2648@ae.auone-net.jp</a>
硬式テニス	坪井 貞光	042-481-6539	<a href="mailto:s.tsuboi@jcom.home.ne.jp">s.tsuboi@jcom.home.ne.jp</a>
ゴルフ	安松 董矩	042-488-5726	<a href="mailto:s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp">s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp</a>
社交ダンス	元木 勇	03-3300-4554	<a href="mailto:bt22hsq4bje57t4y4qt@docomo.ne.jp">bt22hsq4bje57t4y4qt@docomo.ne.jp</a>
太極拳	中野 完二	042-485-0523	
麻雀	濁川 寿次	042-483-6966	
	関口 憲三	042-486-7045	<a href="mailto:s.kenzo.2004@docomo.ne.jp">s.kenzo.2004@docomo.ne.jp</a>
ワングル	石倉 毅	090-8587-1909	<a href="mailto:isicra996@jcom.zaq.ne.jp">isicra996@jcom.zaq.ne.jp</a>
	天野 凡子	042-480-2503	<a href="mailto:minako-amano@view.ocn.ne.jp">minako-amano@view.ocn.ne.jp</a>
女性の会	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	<a href="mailto:wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp">wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp</a>
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>
ボランティア			
・ネットワーク	坊野 美代子	090-2174-0187	<a href="mailto:m-bouno@mti.biglobe.ne.jp">m-bouno@mti.biglobe.ne.jp</a>

語ろうアースカフェ「エストニア講座」

“碧い森に旅しましょうー自然と最新技術が会う ESTONIA”

代表 山田 和子



語ろうアースカフェ主催「エストニア講座」開講のお知らせです。本年度は早稲田大学留学センターのご協力で講師を決定しました。アジアにルーツを持ち、バルト海に面した美しい国エストニアはIT先進国として知られています。スカイプもエストニアで開発されました。当講座では歴史、経済、文化に大きな役割を果たしている森林を一つのテーマとして取り上げ、4回の講義で現在のエストニアの魅力を探っていきます。(写真はエストニアの首都タリンの旧市街)

- 第1回「碧い森へ出発ー概要、地理、自然、歴史」
- 第2回「森と文化の交差点ーエストニア語、文化、観光地」
- 第3回「この森の先にはー隣国との関係、政治的、福祉的な挑戦」
- 第4回「WiFi が森の奥深くにある国ー経済、e-エストニアの紹介(電子署名、電子政府など)」

第1回は今年10月1日、第2回11月19日、第3回来年1月21日、第4回2月18日です。いずれも土曜日。第1回は午前10時～12時、第2回～第4回は午後2時～4時、たづくり8階の映像シアターで。参加費は1000円(学生無料)で講師は早稲田大学文学研究科日本語日本文学博士課程2年のタリヤルヴ・マルギスさん。申込み・問合せは前ページ同好会表中の山田和子まで。ウズベキスタン講座(2013年)、ミャンマー講座(2014年)、スウェーデン講座(2015年)を終え、講座参加者は延べ594人となりました。参加者との交流も深めています。(写真提供 VisitEstonia、撮影 Kaupo Kalde)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>早稲田大学商議員 調布稲門会 会長 <b>椎原 大典</b> 自宅 〒182-0022 東京都調布市国領町8-2-9 ライフタウン国領1-426 電話・FAX 03-3430-4338</p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清一</b> 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 <b>鈴木 光孝</b> 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p><b>株式会社パルコ 調布店</b> 店長 <b>田中 雅之</b> 住所 〒182-0026 東京都調布市小島町1-38-1 電話 042-489-5010 FAX 042-440-7665</p>	<p>イベント・パーティー <b>(株)東京正直屋グループ</b> 住所 〒331-0821 さいたま市北区别所町24-5 電話 048-685-1171 FAX 048-668-2971</p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 <b>行政書士堀内綜合法務事務所</b> 行政書士 <b>堀内正之</b> 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p><b>本格カレー&amp;ダイニング</b> <b>M's Kitchen</b> エムス キッチン 住所 〒182-0024 調布市布田4-2-7 ホテルノビス調布1階 電話 042-444-2185 調布駅1分 飯野病院西側 月曜日定休</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 <b>調布クレストンホテル</b> 住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布パルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 <a href="http://www.crestonhotel.jp">http://www.crestonhotel.jp</a></p>
<p>早稲田大学商議員 調布稲門会 顧問 <b>元木 勇</b> 自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋沢 淳雄</b> 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 <a href="http://www.okomekan.net/">http://www.okomekan.net/</a></p>	<p><b>株式会社 味 彩</b> 住所 〒206-0024 東京都多摩市調訪6-2-3 電話 042-389-7300 FAX 042-310-1950 <a href="http://www.ajisai.co.jp">http://www.ajisai.co.jp</a></p>